学力向上を図るための全体計画

東京都教育委員会目標
練馬区教育委員会目標

大泉第二中学校教育目標

人権尊重の精神をもち、国際化する社会において活躍できるよう夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた生徒を育成するために、次の教育目標を定める。
・よく考える人になろう
・進んで行動する人になろう
・責任感の強い人になろう
・豊かな心をもった人になろう

学校や地域の実態
・学校は生徒が落ち着いて学習できる環境にあり、地域の人々は学校教育に協力的である。

保護者の願い
・生徒に基礎学力が身に付き、将来の夢や目標をもち、自己の進路実現ができることを期待している。
・感謝と思いやりの心をもつ人に育ってほしい。

各教科の指導の重点

○個に応じた指導の充実に取り組み、より一層の基礎的・基本的な内容の定着を図る。
○社会の変化に主体的に対応できるように、体験的な学習を充実させ、課題解決能力の育成を図る。

特別活動の指導の重点

○全ての生徒が自分の良いところが発揮できる活動を設け、所属感や責任感を高める。
○節電やリサイクルなど環境に配慮した学校生活になるよう取り組む。
○ボランティア活動の充実を図り、地域社会での所属感を高める。

生活指導の重点

○生徒と向き合い、寄り添う生活指導の充実を図る。
○各学年の実態に応じ、生徒の規範意識と社会性を高める指導を行う。
○教育相談を充実させ、「いじめ」の早期発見・早期対応を図り、各家庭との連携を強化し、信頼関係を構築するとともに、関係諸機関と連携を図る。

本校における「確かな学力」

「生きる力」を育むための、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を重視し、言語活動の充実や健やかな体の育成を図り、調和のとれた生徒の育成を目指す。

＜重点目標＞
①「主体的･対話的で深い学び」の充実を図る。
②「分かる授業」「分からせる授業」を工夫し、基礎的・基本的な知識と技能の習得を図る。
③生徒の関心や意欲を引き出す授業の工夫を図る。
④家庭学習の充実を図る。
⑤読解力・表現力を高める工夫を図る。

進路指導の重点

○生徒に自己理解を深めさせ、将来の目標をもたせ、望ましい職業観を育むために、キャリア・パスポートを活用してキャリア教育を推進する。
○生徒に卒業後の進路を主体的に選択させ、将来の生活において自己実現を図ろうとする態度を育てる。

道徳教育の指導の重点

○道徳教育推進教師が中心となり、人権課題を取り上げながら、全教師が協力して「特別の教科 道徳」の時間における指導方法を工夫し計画的・継続的に実施する。
○生徒が自分自身の問題と捉え、向き合うように「考え・議論する道徳」の指導方法と評価について工夫する。

総合的な学習の時間の指導

○生徒一人一人の興味・関心に応じた探究活動に取り組ませ、自ら課題を見付け、自ら学び、考え、より良く問題を解決しようとする態度の育成とともに、自己の生き方を考えさせる。
○カリキュラムマネジメントの核となるように各教科の成果を生かす総合的な学習の時間の学びを推進する。

本校の授業改善に向けた取組

指導内容・指導方法の工夫

・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業に取り組む。
・授業のねらいを明確に示し、「分かる授業」「分からせる授業」を工夫する。
・ICT 機器を積極的に活用し、生徒の興味や関心を引き出す授業を工夫する。
・各単元に読解・表現する活動を入れる。
・数学では、習熟度別指導を実施する。
・英語では、学力向上支援講師と T・T による授業を実施する。

教育課程編成上の工夫

・朝読書の充実と落ち着いた学習態度の育成を図る。
・定期考査前の補充教室や長期休業中の学力補充教室の充実を図る。
・東京グローバルゲートウェイの訪問や地域未来塾を活用することで、英語学習のより一層の充実を図る。

校内における研究や研修の工夫および小中一貫教育の視点

・校内研究授業の実践と指導と評価の一体化について研究する。
・大泉南小学校、大泉第二小学校との連携を推進し、学習指導要領を踏まえた課題改善カリキュラムの改訂に取り組む。
・中学校教育研究会などを活用して指導と評価の一体化等について研修に努める。

評価活動の工夫

・最初の授業でガイダンスを行い、評価方法について説明する。
・各教科で「学びのススメ」を作成し、評価方法について生徒に周知する。
・授業公開のアンケートで外部の評価を授業改善に生かす。
・学校評価のアンケート結果を基にして授業改善に生かす。

家庭や地域との連携の工夫

・開かれた学校づくりを推進する。
・各教科で「学びのススメ」を作成し、家庭学習の方法を示す。
・地域の力を活用して放課後や夏季休業中の地域未来塾の充実を図る。
・基本的な生活習慣の定着
・学校便り、学校ホームページの内容を工夫し、大二中の魅力を発信する。